



平成 30 年 11 月 9 日
日本下水道事業団

MBR の可能性拡大や普及展開に向けて
～第 1 回近畿圏膜処理技術勉強会を開催しました～

平成 30 年 10 月 22 日(月)、日本下水道事業団近畿・中国総合事務所会議室において、第 1 回近畿圏膜処理技術勉強会が開催されました。本勉強会は、膜分離活性汚泥法（以下 MBR）導入が全国的にも先駆的である近畿地方において、MBR を採用している自治体・大学等で、MBR の導入や設計、運転管理ノウハウの蓄積等に関する有益な情報の共有、及び全国にむけた発信を行い、MBR 活用の可能性の拡大や技術発展、普及展開に寄与することを目的としています。

第 1 回勉強会では大阪大学池教授を座長に、大阪市、堺市、日本下水道事業団、オブザーバーにクリアウォーターOSAKA(株)が参加し、池座長の講演の後、それぞれの自治体における膜処理技術の知見を発表し、意見交換を行いました。各自治体の発表を踏まえ、MBR の課題であるランニングコストの低減化や、ファウリング対策の可能性、また、MBR 導入理由の背景考察等活発な議論が行われました。第 2 回勉強会では、今回の意見交換を踏まえ、MBR の技術的動向、導入における判断材料等を整理し、効率化及び導入促進に繋がる方策を検討していきます。

本勉強会は今後も継続的に開催しますが、将来的には勉強会の成果を取りまとめた技術発表会やシンポジウム等を開催予定であり、他自治体や関連メーカー等、参加団体の拡大を検討しています。

汚泥処理の集約化・広域化、処理場の改築更新といった課題がある中で、MBR を選択する自治体は今後増加すると見られます。本勉強会の取組みが、今後の下水道事業の効率化に加え、MBR のポテンシャルの拡大に繋がれば幸いです。

【問い合わせ先】

日本下水道事業団

事業統括部 調査役 川上 高男

〒113-0034

東京都文京区湯島 2-31-27 湯島台ビル

TEL:03-6361-7828 (ダイヤルイン)

FAX:03-5805-1806



写真1 勉強会開催風景



写真2 大阪大学池教授による講演風景（写真左池教授）